

1700 万のロウソクと一緒にした
すべての日々と一緒にできて幸せでした

朴槿恵政権退陣

ロウソクの記録

2016年10月29日から2017年4月29日までの6ヵ月間、1700人の韓国の市民と一緒に燃やしたロウソクは、国民を騙した大統領を罷免させました。

朴槿恵政権退陣非常国民行動（退陣行動）は2017年5月24日に解散しましたが、退陣行動はこの大事な勝利の経験と記憶を残すために、白書の発刊、記念事業などの役割をする「朴槿恵政権退陣非常国民行動記録記念委員会」を構成しました。

この本はその「記録記念委員会」が作製したものです。1巻が490頁、2巻が780頁にもなる膨大な記録です。しかし、この白書に記録されたものは、膨大な国民の抗争を記録するにはまだまだ不十分だといってよいでしょう。記録されたすべてを日本語訳すことは、とても私の手に余ります。

その内、わずか5頁を訳しましたが、それだけでも、記念委員会の方たちの熱い思いが伝わるものでした。この大事な記録の日本語訳は、何時か、誰かの手で、必ずやされるものと信じます。いやしななければならないと思います。

日韓民主労働者連帯 代表 中村 猛

発刊の言葉

ロウソク抗争の記憶を抱いて、再度社会大改革に

「これが国か！」

世越号惨事で壊れた大韓民国の実状を確認した私たちは、奪われた権利を取り戻すために闘いました。その長い間の闘いで、遂に朴槿恵- 崔順実勢力の正体が明らかになりました。怒った市民たちは躊躇することなく広場に出ました。

2016年10月29日、雨の清溪広場を予想を遙かに上回る3万人の市民たちが、熱い熱気と怒りでギッシリと埋めました。市民たちは『民衆総決起闘争本部』が準備した一次ロウソク広場で、民主労総の代表が叫んだ「主権者である国民は、選挙で票を入れるだけの機械ではない。独裁権力を引き摺り降ろす権利がある」という言葉に積極的に呼応しました。その後、広場のロウソクは3万から30万に、再び100万に、そして200万に増えながら、朴槿恵政権に圧力を掛けました。

ロウソク抗争は、いつも嘘と不義が当たり前のように強要された状況で、まともに人間扱いをされたこともない市民が主権者であることを宣言し、「大韓民国は民主共和国」であることを全身で実践したものでした。一つのロウソクは風で簡単に消えるでしょう。しかし、そのロウソクが100万、200万になれば、どのような独裁権力も消すことができない途方もない力になることを、私たちはロウソク抗争で確認することができました。2016年12月9日、国会の弾劾訴追案の可決を経て、2017年3月10日に出された憲法裁判所の大統領罷免の決定は、光化門を始めとする全国の幾つもの広場をギッシリと埋め、激しい寒風にもロウソクを消さなかった市民がいたからこそ可能なことでした。

『朴槿恵政権退陣非常国民行動』は、市民たちの民主主義と正義に対する熱望を広場の民主主義として集め、そのロウソクが消えないようにするために、あらゆる努力をすべてやり遂げました。様々な主体が集まって共に作っていく広場、誰も排除されず、嫌悪と差別がない、水平的でありながらも民主的な広場を作ろうと努力しました。朴槿恵政権の即時退陣は重要な要求でしたが、その政権と結託して私たちを固く締めつけてきた、私たちの社会の様々な積弊の清算と社会大改革も、一緒に要求しました。毎週末の集会で、感動的なロウソクのウェーブが演出され、ロウソクを消すパフォーマンスによって、世越号の惨事と、朴槿恵政権で口惜しく犠牲になった人たちを記憶しておこうと思いました。

広場の数多くの討論の場が、開かれた民主主義の実験室であったし、各自の旗を持ち出してラッパを吹いて、爆竹を破裂させた、お祭りの場でもありました。雪と雨が降って、

冬の風が激しくなればなるほど、広場を守ろうとする自発的な市民の参加は更に熱くなりました。『闇は光に勝てない』という歌を合唱しながら、大統領府に、大統領府にと圧力を掛けた荘厳なその行進を、私たちは忘れることができません。最も平和的な方法で行われた、最も威力のあるデモによって、私たちは必ずや朴槿恵政権を権力の座から引きずり降ろすことによって、民主主義の歴史に新しい幕を挙げます。1700万のロウソク市民と共に行った退陣行動は、歴史的な最初の役割を終え、2017年5月24日に解散しました。

「ロウソクと一緒にしたすべての日が幸せだった」という言葉のように、余りな感動と喜びを経験した日々でした。

しかし、私たちの抗争が市民革命として完遂されたとは、未だ言うことはできません。不義な権力を引き摺り降ろして新しい政府を誕生させましたが、永い歳月、私たちの社会の発展を妨害してきた、法的、制度的、人的な積弊が、未だに山積しているからです。積弊清算を越えて、社会大改革を要求したロウソク権利宣言が実現された時こそ、初めて私たちはロウソク革命が完遂されたと宣言することができるでしょう。

そして、私たちは私たちの日常にその可能性を見ます。私たちは自らロウソクを降ろしましたが、あらゆる所でロウソクの記憶が、日常の変化を創り出しているからです。現在進行中の#MeToo運動が正にそれです。MeToo運動は私たちの社会の最も古くからの差別の根源を変えようとする運動です。ロウソク抗争で確認された、『私たちが集まれば、変えることができる』という自信で、山積した課題を解決して社会大改革の要求を実現し、私たちすべてが夢に見る民主共和国を創り出していければ素晴らしいことです。その道で白書が力になることを願います。

この白書は2016年10月29日から2017年4月29日まで行われた、全部で23次のロウソク集会と行進に関する記録です。6ヵ月間で1700万人が一緒に書こうとした抗争の記録です。退陣行動が解散した後、私たちは『退陣行動の記録・記念委員会』を設けて、この白書を作るために資料を収集、分類、整理しました。この白書に収録できなかった遙かに多くの資料は、ソウル市と民主化運動記念事業会に委託して保存することにしました。ロウソク抗争の大事な遺産が流出することがないように、一所懸命に整理した白書を含むこれら有・無形の資料が、後日にロウソク抗争を研究する人たちの助けになることを願います。

この白書を作りながら、ロウソク抗争を共にして下さったすべての人たちに、心から感

謝の挨拶を伝えたいと思います。

一冬を、全国の広場での行事を事前に準備し、集会と行進が終われば、後の掃除まできちんとした状況室の活動家たち、音響、舞台、照明、進行を引き受けてくれた多くの方たち、舞台上で惜しみなく自分たちの才能を見せてくれたミュージシャンと映像活動家たち、手話通訳者たち、募金と案内、安全を引き受けてくれたボランティアのメンバーたちに、先ず感謝を申し上げます。退陣行動の各級単位で責任を持たれた代表者たちと運営委委員たち、激しい討論によって広場のテーマを拡げ、共同の要求を提示しようと努力された状況室傘下の各チームを引き受けて下さった活動家たち、ロウソク行進が大統領府の 100m 前まで行けるようにご苦勞された法律家たち、政経癒着の輪を断ち切るための活動を活潑に展開された財閥特委と、政治圏の牽引のために努力された積弊清算特別委と市民との討論の場を作って意見を取りまとめ、ロウソク権利宣言を作り上げた市民参与特委の委員のみなさまにも感謝を申し上げます。最後に、各種の象徴物と芸術活動によって広場をより豊かに整備して頂いた芸術家のみなさんにも感謝申し上げます。

しかし、その誰よりも感謝したい人たちは、毎週、週末毎に広場を訪ねて、ロウソクを掲げて下さったロウソク市民のみなさまです。崩れた民主主義を取り戻すために、酷寒の寒さの問題ではないと広場を埋めて下さったロウソク市民のみなさんがおられたので、これらすべてのことが可能でした。市民のみなさんはロウソク集会に自発的に参加されただけでなく、それに必要なすべての財政にも責任を持って下さいました。みなさん有り難うございました。

一緒にできて幸せでした。

2018年6月8日

退陣行動の記録記念委員会

クオン・テソン

パク・レグン

パク・ソグン

チョン・カンジャ

チェ・チョンジン